

# 定 期 監 査

## 1 監査の対象、監査実施期間等

対象課・係		対象期間	監査実施期間
総務課	庶務係、業務係	令和6年4月1日～ 同年9月30日	令和6年11月15日～ 同年12月13日
施設課	管理係、工務係		

## 2 監査の方法

対象期間内に執行された事務事業について、提出された資料に基づき、関係諸帳簿及び証拠書類等により予備監査を実施し、関係職員からその執行状況等の説明を聴取した。

監査に当たっては、財務に関する事務の執行が適正かつ正確に行われているか、また、より少ない費用で、最大限の成果を得ているかを主な着眼点として監査を実施した。

なお、監査を実施する前に、過去の監査結果等を参考にリスク評価を行い、重点監査項目を設定した。その主な項目は次のとおりである。

### (1) 契約関係

- ・契約内容を見直す必要のあるものはないか。

### (2) 事務関係

- ・不適切な決裁行為はないか。
- ・日付誤りや未記入、消せるボールペン使用など文書関係に不備はないか。

## 3 監査の結果

監査対象となった事務事業は、所期の目的に沿った執行が進められており、その経理手続、事務処理は概ね妥当と認められ、公表すべき指摘事項は見られなかった。

各課の監査結果等は、後述のとおりである。

### 注 意

- 1 文中及び各表中の金額及び比率は、原則として単位未満を四捨五入している。
- 2 文中及び各表中の比率(%)は、原則として小数点第3位を四捨五入している。
- 3 文中及び各表中の比率(%)は、円単位で計算している。

## ◇ 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	537,000,000	316,343,800	220,656,200	58.91
歳 出	537,000,000	361,911,426	175,088,574	67.40

予算現額は、歳入歳出それぞれ 537,000 千円である。

歳入は調定額 322,619 千円、収入済額 316,344 千円で、執行率 58.91%となっている。

歳出については、支出負担行為額 361,911 千円で、執行率 67.40%、9 月末日時点での支出命令金額は 294,169 千円となっている。

## ◎ 総務課

### 1 職員数及び事務分掌

庶務・業務係が置かれており、職員は課長以下 8 人（うち会計年度任用職員 2 人）である。

事務の分掌は、庶務係が職員の人事・給与・服務、予算の総括及び会計・決算の調整、議会に関することなど、業務係が使用料金等の徴収、工場排水量等の調査・統計、工事請負等の契約・指名業者、財産に関することなどである。

### 2 事務事業の執行状況

#### (1) 庶務係

##### ア 議会に関する事務

議会運営に関する事務及び会計処理を実施しており、10 月 30 日及び翌年 2 月 3 日に議会定例会を予定している。

##### イ 岳南排水路運営委員会に関する事務

運営委員会に関する事務及び会計処理を実施しており、6 月 3 日に開催している。また、11 月 12 日に開催を予定している。

##### ウ 職員の福利厚生に関する事業

予算額 398 千円を計上し、職員の健康保持及び増進を図るため健康診断等を実施するとともに、職員の福利厚生を図るための事業を実施している。

##### エ 職員の人事、給与、共済組合及び公務災害補償に関する事務

一般職員 13 人（富士市からの派遣職員 2 人及び人事交流職員 1 人含む）、パートタイム会計年度任用職員 2 人の給与、共済組合及び公務災害補償に関する事務及び会計処理を実施している。9 月末日時点での一般職員 13 人（富士市からの派遣職員 2 人及び人事交流職員 1 人含む）の給与支給等は、予算額 102,874 千円を計上し、42,684 千円を執行、パート

タイム会計年度任用職員 2 人の報酬支給等は予算額 6,813 千円を計上し、3,201 千円を執行している。

#### オ 職員の研修に関する事務

事務管理能力の向上、専門技術習得のための研修等参加に関する事務及び会計処理を実施しており、富士市職員研修には 5 件、延べ 6 人、その他の研修には予算額 480 千円を計上し、213 千円を執行、9 件、延べ 17 人が参加している。

### (2) 業務係

#### ア 出納事務

使用料は、9 月末日時点で 208,977 千円を収入しており、予算額 409,400 千円に対し、執行率は 51.04%となっている。占用料は有料占用者 20 件、285 千円を収入しており、執行率は 118.31%となっている。

#### イ 契約事務

富士市の法令に倣った予定価格以上の工事請負契約、業務委託及び物品等の購入などの入札並びに少額案件の見積合せを執行し、9 月末日時点で工事 24 件、委託 17 件、物品 3 件、単価契約 1 件の契約を締結している。

#### ウ 防災対策事務

予算額 126 千円を計上し、大規模地震などの災害発生に備え食糧の備蓄を行っており、1 月に本年度分を発注する予定となっている。また、賞味期限間近となった食糧は、フードバンクに寄付を行っている。なお、例年 9 月 1 日に富士市総合防災訓練と同時に開催している防災訓練は、台風 10 号接近のため、中止となっている。

#### エ 広報事務

広報紙は予算額 203 千円を計上し、年 3 回配布している。今年度は 7 月に第 73 号を発行しており、今後 12 月及び翌年 3 月に発行予定となっている。

#### オ 車両管理事務

所有する車両（普通車 2 台、軽自動車 3 台）の維持、運行などの管理を行っている。

#### カ 用地管理事務

借地契約は予算額 3,980 千円を計上しており、9 月末日時点で港湾用地及び鉄道用地など 11 件、1,886 千円を執行している。今後、年度末に民間会社等 16 件に支払い予定である。所有地の占用許可は、9 月末日時点で一時占用許可事務を 1 件執行しており、過年度からの継続許可件数は 64 件となっている。

## ◎ 施設課

### 1 職員数及び事務分掌

管理・工務係が置かれており、職員は課長以下6人である。

なお、このうち2人は富士市からの派遣職員及び人事交流職員である。

事務の分掌は、管理係が施設の小規模な維持・修繕、ポンプ場の運転管理、管内点検・清掃に関する事など、工務係が下水道事業の計画・認可、施設の維持・補修・改築に関する事などである。

### 2 事務事業の執行状況

#### (1) 管理係

##### ア 水質管理費

水質調査費として予算額550千円を計上し、水質分析並びに機器及び薬品の管理を行っている。水質調査の調査項目はPH、D0等であり、66回の調査を自主監視で実施しているほか、水質調査業務委託を1件行っている。

また、硫化水素調査費として予算額1,390千円を計上し、硫化水素調査を42回実施しているほか、機器等の管理を行っている。

##### イ 下水道維持費

維持補修費として施設の小規模な維持工事を実施しており、予算現額22,600千円に対し、支出負担行為額15,388千円で執行率68.09%となっている。

また、保守点検費として管内点検及び清掃等、下水道台帳等の整備及び施設の小規模な修繕を実施しており、予算現額26,140千円に対し、支出負担行為額23,566千円で執行率90.15%となっている。

その他下水道管理事務費として予算額1,431千円を計上し、巡視を12回、近接工事等協議を19件、苦情変状対応を9件実施している。

##### ウ ポンプ場維持費

維持補修費としてポンプ場の小規模な維持工事を実施しており、予算現額800千円に対し、支出負担行為額418千円で執行率52.25%となっている。

また、保守点検費としてポンプ場の運転管理等及び施設の小規模な修繕を実施しており、予算現額36,840千円に対し、支出負担行為額32,667千円で執行率88.67%となっている。

その他ポンプ場管理事務費として予算額6,441千円を計上し、燃料、光熱水等の調達を実施している。

#### (2) 工務係

##### ア 管渠施設費

保全対策事業として管路施設の更新、長寿命化等の改築を実施しており、予算現額246,100千円に対し、支出負担行為額220,700千円で執行率89.68%となっている。

イ ポンプ場施設費

保全対策事業としてポンプ場施設の更新、長寿命化等の改築を実施しており、予算現額 5,900 千円に対し、支出負担行為額 5,360 千円で執行率 90.85%となっている。